

ミニミニマインズ

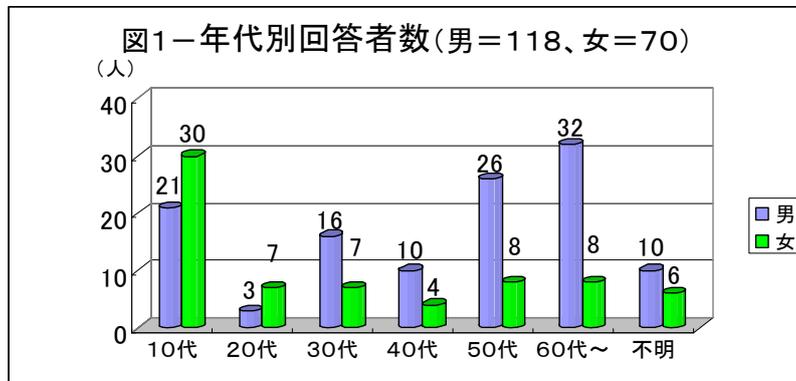
～博物館だより～

平成19年5月号 第148号

平成18年度アンケート集計結果

平成18年度のアンケートを集計いたしました。回答者数は234名、うち男性118名、女性70名、性別不明者46名でした。

年代別回答者は図1のとおりです。男女共に10代の数が多いのが目につきますが、これは学校の授業の一環として来館することが多いためと考えられます。10代以降の年代を見ても女性の場合、年代毎に満遍なく回答者がいるのに対して、男性の場合、20代から40代で回答者数が落ち込んでおり、特に20代の回答者の少なさが顕著です。



「この博物館に何回来ましたか?」という来館回数を問う質問(図3)に対しては約8割の人が「初めて」と答え、約2割の人がリピーターであることが分かりました。リピーターの人たちの中には4回目、5回目という人もおり、最高で10回目という人も7名いらっしゃいました。

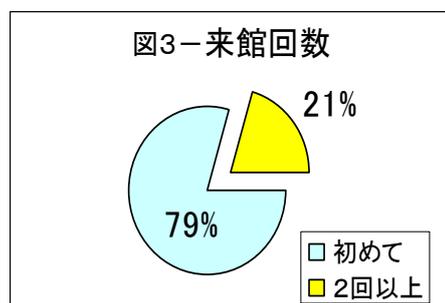


表1-おもしろかった展示物(複数回答)

順位	展示物	投票数
1位	宝石・貴石	130
2位	鉱物	120
3位	鉱石	108
4位	化石	103
5位	岩石	100

最後に、面白かった展示物について(表1)。やはり、鉱業博物館の顔ともいえるべき鉱物の人気が高く、1階にある展示物はほとんどの回答者からおもしろかった、興味深かったという声を頂いています。以下、6位「地下資源を探る」62票、7位「私たちの生活とさまざまな素材」56票、8位「石からどんなことがわかるの?」55票、9位「地球を知ろう」54票、10位「さまざまなエネルギー資源」47票となっています。

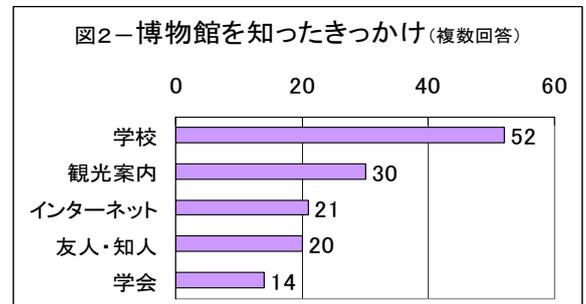
以上、平成18年度アンケート結果を報告しましたが、いかがでしたでしょうか?

来館者の声ともいえるべきこれらのアンケート結果を生かし、より魅力的な博物館になることを目指して職員一同頑張っていきたいと思っております。

ツツジの季節になりました!



次に、博物館を知ったきっかけ(図2)について。博物館という施設の性格上、また当館が大学附属の博物館ということもあり、学校を通じて知ったという回答が最も多い結果がでました。また、インターネットで知ったという人が、新聞・ラジオ・テレビ・雑誌等を抑えメディアの中で最も多かったという点も特筆すべき点でしょう。



無料開放日（4月21日・22日）の入館者数は92名

科学技術週間に伴う当館の無料開放を先月の21日（土）と22日（日）に行いました。21日は35名、22日は56名、両日合わせて入館者数は92名でした。ガイドをしてくださったサイエンスボランティアの皆さん、ありがとうございました。

今後の行事予定

- 前期企画展 前披露 7月27日（金）「津波の正体にせまる—津波研究の最前線—」
期 間 7月28日（土）～9月2日（日）前期企画展に関連した講演会（未定）
- ジュニアサイエンススクール 「貝化石の採集と整理」
期 間 7月下旬～8月上旬（予定）

～ボランティア会員へのお知らせ～

（事務局 長谷川）

☆4月の例会：4月26日（木）開催

例会後の勉強会は西谷先生の「地磁気の話」と題する講話でした。地磁気の歴史、バンアレン帯、地磁気の三要素、地磁気の変動などについて解説して頂きました。今回は予定の半分程度しか話ができなかったようですので折を見て再度講話をお願いする予定です。

☆博物館館長交替などに伴う歓送迎会：4月26日17時45分から、大学会館で開催。

ボランティア会員19名が参加しました。このとき丸山先生に、当会に対する長い間のお世話に対するお礼の一端として、出席会員一同で図書券を差し上げました。

☆5月の事務局会議：当初開催予定の17日を、佐藤館長の申し入れで22日（火）15時半からに変更します。

☆5月の例会・総会：5月24日（木）13時半から開催

前号の23日は間違いでした。総会后、谷口先生の講話を予定しています。

☆6月の事務局会議、例会の日程

事務局会議：6月14日（木）10時から開催します。
例 会：6月21日（木）13時半から開催します。

☆活動状況

案内：4月19日 学 術 研 究 課（15名）小野・片岡会員
21日 無 料 開 放 日 小野・片岡・齋藤会員
22日 同 佐藤・片岡・齋藤・長谷川会員
26日 旭 川 小 学 校（10名）齋藤・片岡会員
5月10日 石油備蓄連絡会（15名）小野・渡邊会員
琴 丘 中 学 校（4名）藤原会員
11日 信 州 大 学（9名）上田会員



平成19年4月27日：長坂撮影

冒頭の写真でも紹介しましたが、ツツジの季節となりました。博物館前の庭には数多くのツツジがあり、色とりどりの花を咲かせ見ごろを迎えています。是非、散策がてら博物館にお立ち寄りください。尚、ミニミニマインズ（博物館だより）は、ホームページ（<http://kuroko.mus.akita-u.ac.jp>）でも掲載されております。どうぞ、ご覧ください。